

平成27年度行政事業レビューシート (総務省)

総務省

| | | | | | | | | |
|--|---|---------------------------------|--------|---|---|--------------|-------------------------------|-----------------|
| 事業名 | 災害に強いG空間シティの構築等新成長領域開拓のための実証事業 | | | 担当部局 | 情報流通行政局 | 作成責任者 | | |
| 事業開始年度 | 平成25年度 | 事業終了(予定)年度 | 平成26年度 | 担当課室 | 地域通信振興課 | 課長 | 山崎良志 | |
| 会計区分 | 一般会計 | | | 政策・施策名 | V-2 情報通信技術高度利用の推進 | | | |
| 根拠法令(具体的な条項も記載) | 地理空間情報活用推進基本法第18条、総務省設置法第4条第65号 | | | 関係する計画、通知等 | 「地理空間情報活用推進基本計画(平成24年3月27日閣議決定)」、「世界最先端IT国家創造宣言(平成26年6月24日閣議決定)」、「日本再興戦略(平成26年6月24日閣議決定)」 | | | |
| 主要政策・施策 | 科学技術・イノベーション、国土強靱化、IT戦略 | | | 主要経費 | その他の事項経費 | | | |
| 事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | G空間情報の利活用を促進し、経済の成長力の底上げ及び国土の強靱化を図るため、スマートフォンなどで一人一人に的確な避難誘導を行う、準天頂衛星等を利用した防災システム等の実証事業を実施。 | | | | | | | |
| 事業概要(5行程度以内。別添可) | 準天頂衛星等によるG空間情報を利用した避難誘導や新産業創出のための実証として、以下のものを実施。 ①波浪計のデータ等を利用した津波等の災害予測及び情報伝達に関する実証 ②都市災害時の地下街等閉鎖空間における情報伝達の実証 ③山間部や過疎地等における豪雨・洪水の迅速把握及び情報伝達の実証 ④高精度測位やビッグデータを活用したネットワークロボットに関する実証 ⑤3次元地図等を利用したバリアフリーナビの実現に関する実証 | | | | | | | |
| 実施方法 | 委託・請負 | | | | | | | |
| 予算額・執行額(単位:百万円) | | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度要求 | | |
| | 予算の状況 | 当初予算 | - | 0 | 0 | 0 | - | |
| | | 補正予算 | - | 1,200 | 0 | 0 | - | |
| | | 前年度から繰越し | - | 0 | 1,200 | 0 | - | |
| | | 翌年度へ繰越し | - | ▲1,200 | 0 | 0 | - | |
| | | 予備費等 | - | 0 | 0 | 0 | - | |
| | | 計 | 0 | 0 | 1,200 | 0 | 0 | |
| | 執行額 | - | 0 | 1,013 | | | | |
| 執行率(%) | - | - | 84% | | | | | |
| 成果目標及び成果実績(アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 目標最終年度 - 年度 |
| | | | 成果実績 | - | - | - | - | - |
| | | | 目標値 | - | - | - | - | - |
| | | | 達成度 | % | - | - | - | - |
| 成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 | | | | | | | <input type="checkbox"/> チェック | |
| 定量的な成果目標の設定が困難な場合 | 定量的な目標が設定できない理由 | | | 定性的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績 | | | | |
| | 定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標 本事業は、G空間情報を利活用して世界最先端の防災モデルや地域活性化モデルを構築することによって、経済の成長力の底上げ及び国土の強靱化を図ることが目的であり、構築したモデル数等の定量的指標で上記の達成是非を判断することは困難。そのため、G空間シティの普及展開に向けた標準的・共通的な仕様・ルールの策定を代替目標として設定する。 | | | 経済の成長力の底上げ及び国土の強靱化を図るといふ本事業の目標は十分達成された。 | | | | |
| 事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績 | 代替目標 | 代替指標 | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 目標最終年度 26 年度 |
| | 普及展開に向けた標準的・共通的な仕様・ルールの策定 | 普及展開に向け委託先が策定した標準的・共通的な仕様・ルールの数 | 実績 | 点 | 0 | 0 | 62 | - |
| | | | 目標値 | 点 | 0 | 0 | 30 | - |
| 達成度 | | | % | - | - | 206.7% | - | |
| 活動指標及び活動実績(アウトプット) | 活動指標 | | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度活動見込 |
| | 実証プロジェクトの実施件数 | 活動実績 | 件 | - | - | 10 | - | |
| | | 当初見込み | 件 | - | - | 10 | - | |

| 単位当たり コスト | 算出根拠 | | | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度見込 | |
|---|-------------------|----------|--------|--------------------------|-----------|------|------|----------------------|---|
| | 執行額／実証プロジェクトの実施件数 | | | 単位当たり コスト | 百万円 | - | - | 101 | - |
| | | | | 計算式 | 百万円/ 件 | - | - | 1,013(百万円)/10 (件) | - |
| 平成 27・28 年度 予算 内訳 (単位： 百万円) | 費目 | 27年度当初予算 | 28年度要求 | 主な増減理由 | | | | | |
| | | - | - | 平成26年度事業終了(平成25年度予算を繰越)。 | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 計 | 0 | 0 | | | | | | | |

事業所管部局による点検・改善

| 項目 | | 評価 | 評価に関する説明 |
|----------|--|---|---|
| 国費投入の必要性 | 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ | 地理空間情報活用推進基本法においては、「国及び地方公共団体は、…基盤地図情報の積極的な提供、統計情報、測量に係る画像情報等の電磁的方式による整備及びその提供その他の地理空間情報の円滑な流通に必要な施策を講ずるものとする」とされており、国によるG空間情報の円滑な流通に関する施策の実施が求められている。 |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ | 本事業は、経済の成長力の底上げ及び国土の強靱化を図るため、G空間情報を利用した防災モデル等を構築するものであり、その重要性及び国内外への成果展開のため、国による委託事業として実施することが適当である。 |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ | 政府の「世界最先端IT国家創造宣言」等においても、G空間情報の利活用について記述されており、G空間情報の利活用の推進は国として優先的に取り組むべき事項である。 |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ | 応募のあった提案(29件)について外部有識者による評価会を開催。書面審査のみならず、提案者からのヒアリング審査も行い、「普及展開の可能性」を中心に厳正な評価を実施し、評価の高い事業10件を採択。 |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○ | ・評価の高い事業10件を採択するとともに、要望額(約18億円)を精査することにより、半分程度(約10億円)の予算で事業を実施させることで受託者と調整を実施。 ・外部評価に当たっては、委託先の自己負担についても評価対象としている。 |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ | ・評価の高い事業10件を採択するとともに、要望額(約18億円)を精査することにより、半分程度(約10億円)の予算で事業を実施させることで受託者と調整を実施。 ・外部評価に当たっては、委託先の自己負担についても評価対象としている。 |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | - | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ | ・評価の高い事業10件を採択するとともに、要望額(約18億円)を精査することにより、半分程度(約10億円)の予算で事業を実施させることで受託者と調整を実施。 ・採択された事業の進捗管理、経理の公平性確保等を確実に実現するため、各受託者に対して専門的見地からの支援を行う事業管理支援法人((株)野村総合研究所)を公募により決定し、執行管理を徹底。 |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | |
| | その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか | - | |
| 事業の有効性 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか | - | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ | 当初見込みどおりの実績である。 |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ | 各委託先等において成果展開や継続的な実証事業のため活用されている。 |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) | - | |
| | 所管府省・部局名 | 事業番号 | 事業名 |
| | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | 事業の実施に当たっては、公募及び外部評価により、成果が期待できる事業を適切なプロセスにより選定したところであり、必要な事業を効率的・効果的に実施した。 | |
| | 改善の方向性 | 繰越し事業についても完了しており、当該事業は終了している。 | |

外部有識者の所見

事業実施に当たり公募・外部評価による絞込み、執行管理等のプロセスは評価できます。また、単なる解決モデルの策定のみでは、事業目標の達成が困難であることを意識したうえで成果目標を掲げている点も好印象です。気になるのは、策定したモデルがどのように目的達成と対応しているかという点です。今後、防災モデルや地域活性化モデルの構築がどのような形で「経済の成長力の底上げや国土強靱化」に生かされていくのか、その推移を見守りたいと思います。

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定

平成26年度をもって事業終了

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定通り終了

今後は、平成26年度に得られた成果が、経済の成長力の底上げや国土強靱化等の社会的課題の解決という事業目的に具体的に生かされていくよう、関係府省と連携して取り組んでまいります。

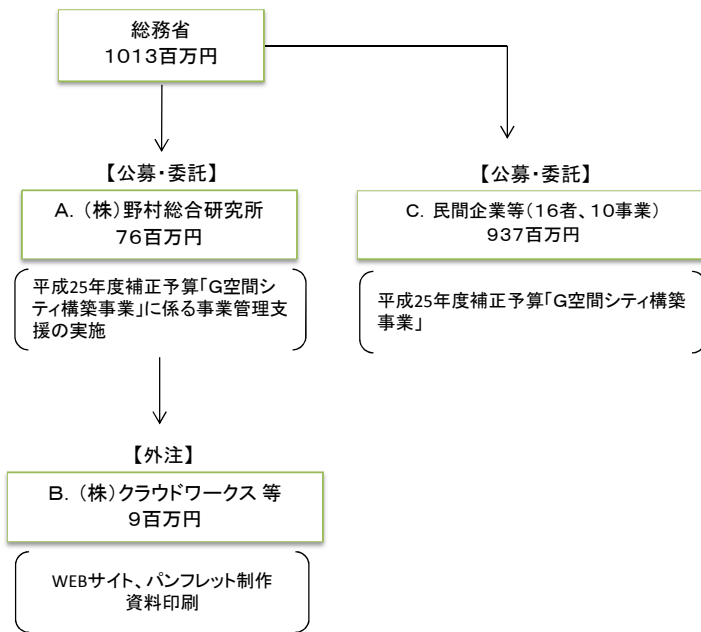
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

| | | | | | |
|--------|----------|--------|------|--------|---|
| 平成22年度 | - | 平成23年度 | - | 平成24年度 | - |
| 平成25年度 | 新26-0011 | 平成26年度 | 0093 | | |

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



| | | | | | | |
|---|------------------------------|----------------------|-------------|-------------------------------|----|-------------|
| 費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載) | A.(株)野村総合研究所 | | | E. | | |
| | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | 人件費 | 業務請負報酬、報告会謝金等 | 49 | | | |
| | 旅費 | 国内出張、報告会交通費等 | 6 | | | |
| | 外注費 | WEBサイト、パンフレット制作、資料印刷 | 9 | | | |
| | 一般管理費 | | 6 | | | |
| | 消費税 | | 6 | | | |
| | 計 | | 76 | 計 | | 0 |
| | B.(株)クラウドワークス | | | F. | | |
| | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | 人件費 | WEBサイト、パンフレット制作 | 9 | | | |
| | | | | | | |
| | 計 | | 9 | 計 | | 0 |
| | G. 価値総合研究所(人吉市G空間シティ構築事業共同体) | | | G. | | |
| | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | 人件費・謝金 | 人件費(実証担当者、実証補助者)、謝金 | 104 | | | |
| | その他 | 外注費、通信運搬費等 | 13 | | | |
| | 物品費 | 設備備品費、消耗品費 | 12 | | | |
| 旅費 | 旅費 | 6 | | | | |
| 一般管理費 | | 13 | | | | |
| 計 | | 148 | 計 | | 0 | |
| 費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 | | | | <input type="checkbox"/> チェック | | |

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|----------|---------------------------------|--------------|-------|-----|
| 1 | ㈱野村総合研究所 | 平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」に係る事業管理支援 | 76 | 公募・委託 | - |

B

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|-------------|-----------------|--------------|------|-----|
| 1 | ㈱クラウドワークス | WEBサイト、パンフレット制作 | 7 | | |
| 2 | ㈱NRIワークプレイス | 報告会等における資料印刷 | 2 | | |
| 3 | あたご速記 | 報告会における速記 | 0 | | |

C

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|-----------------|--------------------------------|--------------|-------|-----|
| 1 | ㈱価値総合研究所 | 平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」における実証事業 | 148 | 公募・委託 | - |
| 2 | 東北大学災害科学国際研究所 | 平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」における実証事業 | 145 | 公募・委託 | - |
| 3 | ㈱横須賀テレコムリサーチパーク | 平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」における実証事業 | 128 | 公募・委託 | - |
| 4 | (公財)京都高度技術研究所 | 平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」における実証事業 | 112 | 公募・委託 | - |
| 5 | 立命館大学 | 平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」における実証事業 | 83 | 公募・委託 | - |
| 6 | 西日本電信電話㈱ | 平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」における実証事業 | 75 | 公募・委託 | - |
| 7 | (一財)北海道総合研究調査会 | 平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」における実証事業 | 63 | 公募・委託 | - |
| 8 | 東日本電信電話㈱ | 平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」における実証事業 | 52 | 公募・委託 | - |
| 9 | 徳島県 | 平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」における実証事業 | 46 | 公募・委託 | - |
| 10 | 久米島町 | 平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」における実証事業 | 45 | 公募・委託 | - |

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック